



# 霞 城 コ ン パ ス

進路情報 第14号 平成26年12月24日発行

## 今年の成果と課題

霞城セントラル1階にもツリーが飾られ、巷では先週から年賀状の受け付けも開始され、いよいよ年の瀬という感じがしてきました。皆さんは、恐らく1月に1年の目標を考えたと思います。「言うは易し、行うは難し」目標を立てても忘れてしまっはいけません。人にはそれぞれの物差しがあるので人と比べなくてもいいけれど自分なりにどのくらい成果があったか、どのくらいの課題が残されているかを考えてみましょう。それをふまえて正月には新たな年を迎えます、目標を立ててみましょう。



## ◆ 12月～1月の進学日程（卒業年次）

日 程	行 事 内 容	留 意 点
(1) 12月25日(木)～ 26日(金)	個別指導（講習含む） ※連絡済、確認してください。	○ センター試験前のラストスパートです。学力は最後まで伸びる！！
(2) 1月15日(木) 16:40～17:30 会議室	「センター試験激励会」・「受験説明会」 ※センター試験受験予定者を対象として、 定時制・通信制合同で実施 ※「受験票」「受験上の注意」を持参する。	○ 「激励会」は約30分。生徒会や先生方から激励を受けたあと、決意を述べます。その後、「受験心得」諸注意があります。
(3) 1月17日(土) ・18日(日)	センター試験<本試験> 1日目は、公民・地歴・国語・英語 2日目は、理科・数学 ※今年は理数の新課程の試験と旧課程が混在するので要注意。	○ 受験予定者6名は、全員、山形大学小白川キャンパスが試験会場です。 ○ 受験生は、「受験票」を忘れないように！
(4) 1月19日(月) 9:00～12:30	センター試験の自己採点 於：会議室 ※授業は公欠扱い ※マークミスは命取り。正確に行わなければ信頼性のあるデータは手に入らない。	○ この自己採点が全国集計されて、3日後には合格可能性が判明。 <u>遅刻・欠席しないこと。</u> <ベネッセ・河合塾によるデータ集計>
(5) 1月26日(月) ～2月4日(水)	2次試験・個別学力検査「出願期間」 ※前期・中期・後期、すべての日程がこの期間の受付のみ。	○ 締切期限に余裕を持って準備して出願してください。 ○ 入学願書は各自準備となります。
(6) 1月下旬～	2次試験（個別学力検査）に合わせた教科指導・小論文指導	○ 各先生方の指導に意欲的に取り組みましょう。

先日13号を発行してから合格・内定者が増えました、よい年を迎えられそうですね。そして、センター試験や一般試験、就職と、今からが勝負のみなさん！がんばってください。応援しています。

## ■ 平成27年3月卒業予定者の進路希望・合格状況

12月22日現在

	I 部	II 部	III 部	合計	合格・内定
4年制大学	5	5	0	10<12>	6(5)
短期大学	0	2	1	3<3>	2(1)
専門学校	11	10	4	25<16>	18(11)
就 職	7	12	9	28<34>	23(15)
そ の 他	4	6	4	14<5>	—(—)
合 計	27	34	18	79<70>	49(32)

# 重要

就職内定者のみなさん、注意してください。

## ○内定先での研修について

年末の休業や2月に内定をいただいた企業から『研修』（アルバイト）をしてほしいという話が出るかもしれませんが、これは、全国的に（文部科学省・厚生労働省 通達）で**禁止**されています。以下抜粋、

### 12 採用（内定）生徒の就業開始時期及び研修等について

- (1) 卒業式前に企業が実施する実習・研修は、これを行わないこと。
- (2) 就業開始（実習、研修等を含む）時期は卒業式後とすること。

企業によっては、よく知らずに研修をお願いされるかもしれませんが、「禁止」なので覚えておいてください。ただ、2月に説明会や制服の採寸などで呼ばれる等は、登校日にかかっている可能性があります。

## ○事故について

休業中はもちろん3月まで事故を起こした場合、内定が取り消されてしまいます。運転免許を取得している人も多い本校の場合、冬道に運転をして交通事故を起こすとすべて無になります、**だいたい自分の命・身体を守ることは何より大切なこと**です。

## ところで スマホをどのくらい触らないでいられる？

とある企業さんからお聞きした話です。



### 「最近の高校生は、就職試験の間にもスマホを出すんだよ。」とあきれていたというお話。

基本的に試験というのは面接している時間だけが試験ではないので、空いている時間も、会社まで来る様子も含め、その様子はチェックされています。それを自分の面接まで間があるから、暇を持て余し「スマホ」を出し、LINE をチェックする・ゲームをするなんて**お話にならない**という話です。

言われてみて、ふとみなさんの学校での様子を見てみました。確かにたった5分の休み時間でさえ「スマホ」を触る人は多いようです。時代が違うと言われてしまえばそれまでですが、みなさんのお父さんやお母さんの高校生のころは携帯もスマホもない時代だったのです、この時代は何をして暇をつぶしていたのでしょうか？

#### ⇒ 学校では・・・

- ・クラスの友人と話をしていた。
- ・本（マンガも含め）を読んでいた。
- ・音楽を聴いていた。
- ・予習に追われていた。
- ・早弁をしていた。

#### 家庭では・・・

- ・テレビをみていた。
- ・音楽（ラジオ）を聴いていた。
- ・趣味に没頭していた。
- ・友人と長電話をしていた。
- ・勉強していた。

という答えが多いようです。考えてみると「スマホ」にかかる時間は本当に莫大です。気付いていますか？

働いている人がスマホを年中いじっているのは見たことがありませんよね？世の中において「**社会性**」は重要です。昔、お父さんお母さんがしていた「友人とムダ話」「テレビを見る」も、**生きた人と関わっている**わけで、この積み重ねが「社会性」を育てます。そして興味深いコラムもみかけました。女子諸君は必見！

## 「『スマホ』をしてばかりいるとブスになる。」

確固とした根拠はないようですが、「下ばかり向いているので顔がむくむ」とか、「人と話すのとは違って無表情になる」（ま、スマホに向かってニコリしていたら気持ち悪いけれど）とか書いてありました。笑顔は大切、表情豊かで元気のよいあいさつができる人を社会は求めているでしょう。さあ、新年を迎えるにあたってちょっと考えてみませんか？

